

【仕訳の起票方法】

「**■貸借対照表・事業活動計算書仕訳**」を入力すると、「**□資金収支計算書仕訳**」は自動起票されるので入力不要です。なお、設定により科目の名称等が異なる場合がございます。
2次仕訳とは、資金収支計算書に反映させるかどうかを指定するための項目になります。

事例(1) 納付時の会計処理

【条件】

①職員出資金 156,100円 ②会員掛金 390,640円 ③第2出資金 15,000円 ④職員掛金 43,550円 会員掛金 14,760円

A. 給与支払時に職員出資金・職員掛金を控除する

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)				□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
現金預金	156,100	預り金(職員出資金)	156,100	仕訳なし	
現金預金	43,550	預り金(職員掛金)	43,550		
		自動			

B. 共済会に職員出資金・職員掛金を支払う

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)				□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
預り金(職員出資金)	156,100	現金預金	156,100	仕訳なし	
預り金(職員掛金)	43,550	現金預金	43,550		
		自動			

C. 共済会に会員出資金・第2出資金・会員掛金を支払う

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)				□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
その他の固定資産	現金預金	自動	積立資産支出	支払資金	
退職給付引当資産			退職給付引当資産支出		
共済会退職手当預け金	405,640		共済会会員・第2出資金	405,640	405,640
事務費	現金預金	自動	事務費支出	支払資金	
福利厚生費			福利厚生費支出		
共済会会員掛金	14,760		共済会会員掛金	14,760	14,760

D. 退職給与引当金を計上する

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)				□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
人件費	固定負債	自動	仕訳なし		
退職給付費用	退職給付引当金				
共済会退職給付費用	405,640		共済会退職給付引当金	405,640	

【仕訳の起票方法】

「**■貸借対照表・事業活動計算書仕訳**」を入力すると、「**□資金収支計算書仕訳**」は自動起票されるので入力不要です。なお、設定により科目の名称等が異なる場合がございます。
2次仕訳とは、資金収支計算書に反映させるかどうかを指定するための項目になります。

事例(2) 加入者退職時の会計処理（会員負担出資金累計<会員負担出資金分退職一時金の場合）

<退職一時金支給決定通知書>

①会員負担出資金累計額	929,625円（会員出資金＋第2出資金）	③職員出資金累計額	274,800円
②退職一時金額	1,810,720円	④支給合計額(②+③)	2,085,520円

【条件】

1. 共済会から退職者へ直接送金の場合(施設での資金の動きはないが、退職金として会計処理をする)
2. 簡便的方法(現金主義で処理した場合)を使用

○1枚目

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)			□資金収支計算書仕訳(自動起票)		
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
人件費	その他の収益		人件費支出	その他の収入	
退職給付費用	雑収益	する	退職給付支出	雑収入	
共済会退職給付費用 1,810,720	共済会退職手当金収益 1,810,720		共済会退職金 1,810,720	共済会退職手当金収入 1,810,720	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
その他の収益	退職給付引当資産		その他の収入	積立資産取崩収入	
雑収益	共済会退職手当預け金	する	雑収入	退職給付引当資産取崩収入	
共済会退職手当金収益 929,925	929,925		共済会退職手当金収入 929,925	共済会退職手当金収入 929,925	

○2枚目

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)			□資金収支計算書仕訳(自動起票)		
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方	
退職給付引当金	人件費		仕訳なし		
共済会退職給付引当金 929,925	退職給付費用 929,925	自動			

【仕訳の起票方法】

「**■貸借対照表・事業活動計算書仕訳**」を入力すると、「**□資金収支計算書仕訳**」は自動起票されるので入力不要です。なお、設定により科目の名称等が異なる場合がございます。
2次仕訳とは、資金収支計算書に反映させるかどうかを指定するための項目になります。

□ 各計算書類においての確認箇所 ■

計算書類名－区分	科目	金額	事例(2)の場合
事業活動計算書－サービス活動増減の部	人件費 退職給付費用 共済会退職給付費用	退職一時金額から会員負担出資金累計額を引いた金額	式: 1,810,720－929,9225 880,795円
事業活動計算書－サービス活動増減の部	その他の収益 雑収益 共済会退職手当金収益	退職一時金額から会員負担出資金累計額を引いた金額	式: 1,810,720－929,9225 880,795円
貸借対照表－固定負債	退職給付引当金 共済会退職給付引当金	会員負担出資金累計額 ※引当金(負債)の取崩のため、借方に起票	 929,925円
貸借対照表－その他の固定資産	退職給付引当資産 共済会退職手当預け金	会員負担出資金累計額 ※引当資産(資産)の取崩のため、貸方に起票	 929,925円
資金収支計算書－事業活動による収支	人件費支出 退職給付支出 共済会退職金	退職一時金額	 1,810,720円
資金収支計算書－事業活動による収支	その他の収入 雑収入 共済会退職手当金収入	退職一時金額から会員負担出資金累計額を引いた金額	式: 1,810,720－929,9225 880,795円
資金収支計算書－その他の活動による収支	積立資産取崩収入 退職給付引当資産取崩収入 共済会退職手当金収入	会員負担出資金累計額	 929,925円

【仕訳の起票方法】

「**■貸借対照表・事業活動計算書仕訳**」を入力すると、「**□資金収支計算書仕訳**」は自動起票されるので入力不要です。なお、設定により科目の名称等が異なる場合がございます。
2次仕訳とは、資金収支計算書に反映させるかどうかを指定するための項目になります。

事例(2)－2 加入者退職時の会計処理（会員負担出資金累計＞会員負担出資金分退職一時金の場合）

＜退職一時金支給決定通知書＞

①会員負担出資金累計額	239,540円（会員出資金＋第2出資金）	③職員出資金累計額	97,730円
②退職一時金額	158,290円	④支給合計額(②＋③)	256,020円

【条件】

1. 共済会から退職者へ直接送金の場合(施設での資金の動きはないが、退職金として会計処理)
2. 簡便的方法(現金主義で処理した場合)を使用

○1枚目

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)			□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方
人件費	退職給付引当資産	する	人件費支出	積立資産取崩収入
退職給付費用	共済会退職手当預け金		退職給付支出	退職給付引当資産取崩収入
共済会退職給付費用	158,290		共済会退職金	共済会退職手当金収入
			158,290	158,290

○2枚目

■貸借対照表・事業活動計算書仕訳(入力)			□資金収支計算書仕訳(自動起票)	
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方
退職給与引当金	人件費	自動	仕訳なし	
共済会退職給付引当金	退職給付費用			
	共済会退職給付費用			
	158,290			
借方	貸方	2次仕訳	借方	貸方
退職給与引当金	退職給付引当資産	自動	仕訳なし	
共済会退職給付引当金	共済会退職手当預け金			
	81,250			

【仕訳の起票方法】

「貸借対照表・事業活動計算書仕訳」を入力すると、「資金収支計算書仕訳」は自動起票されるので入力不要です。なお、設定により科目の名称等が異なる場合がございます。
2次仕訳とは、資金収支計算書に反映させるかどうかを指定するための項目になります。

各計算書類における確認箇所

計算書類名－区分	科目	金額	事例(2)-2の場合
貸借対照表－固定負債	退職給付引当金 共済会退職給付引当金	会員負担出資金累計額 ※引当金(負債)の取崩のため、借方に起票	239,540円
貸借対照表－その他の固定資産	退職給付引当資産 共済会退職手当預け金	会員負担出資金累計額 ※引当資産(資産)の取崩のため、貸方に起票	239,540円
資金収支計算書－事業活動による収支	人件費支出 退職給付支出 共済会退職金	退職一時金額	158,290円
資金収支計算書－その他の活動による収支	積立資産取崩収入 退職給付引当資産取崩収入 共済会退職手当金収入	退職一時金額	158,290円